

2016年5月25日

「貨物積み降ろし受付予約システム」を開発、 国際物流総合展 2016 で発表、発売開始

運用中の「受付システム」に加え、スマートフォンタブレットからトラックの入庫予約ができる「予約システム」を開発。「貨物積み降ろし受付予約システム」として発売予定。

株式会社エル・スリー・ソリューション（代表取締役社長：樋口恵一）は、このほど「貨物積み降ろし受付予約システム」を開発、国際物流総合展 2016 において発表し、物流企業、メーカー、流通系の配送センター、工場向けに導入がしやすいクラウド式として低価格での販売を開始いたします。

「貨物積み降ろし受付予約システム」は、トラックドライバーが倉庫での積み降ろし時間をスマートフォンなどの端末から事前に予約できるシステムであり、トラックドライバーの待機時間削減に寄与すると同時に、倉庫側においても入出庫の順番が事前に分かることから、計画的な人員配置と貨物の保管レイアウトが可能となり、増員を抑えることができるなどのメリットを有するシステムです。

弊社はこれまで、「ドライバーの待機時間問題」（※1）を解決するための一助として、倉庫・配送センターに来場するトラックドライバーが、タッチパネル方式の画面で受付することで、来場から退場までの所要時間を計算し、どの時間帯が混雑し、どのくらい待機時間となっているかなどを見える化する「受付システム」（※2）を開発。主たる得意先である川崎陸送株式会社（本社 東京都港区）の埼玉県坂戸市及び京都府久世郡久御山町の倉庫・配送センター他で導入・運用していただきました。しかしながら、受付システムだけでは完全ではなく、繁忙期の待機時間を能動的に削減することはできず、事前に予約を取ってこそ100%待機時間の削減に貢献できると考えています。

貨物積み降ろしに関わる課題（※3）を考慮しながら、トラックドライバーが必要以上に待機しなければならない時間を短縮し、働く環境を大幅に改善し、最終的にはドライバー不足解消にも貢献できるシステムを開発いたします。

今後は、平成 28 年 8 月末頃にプレスを対象としたデモ体験会を開催し、同年 9 月に開催される国際物流総合展 2016 にて発表、発売を開始する予定です。

●お問い合わせ先

株式会社エル・スリー・ソリューション 開発センター
TEL : 048-451-5781
担当：斉藤・安達

<貨物積み降ろし受付予約システムの特長>

- ドライバーが倉庫に来る前に、スマートフォンなどの端末から予約することが可能です。
トラックドライバーは、事前に貨物の積み降ろし時間を予約できることにより、計画的な運行ができるようになります。また仮に早着した場合においても、積み降ろし現場前での長時間に渡る待機を回避し、高速道路のパーキングエリアや駐車ができるコンビニ等での時間調整が可能となります。このことにより以下のようなメリットを生みます。
 1. 待機車両による駐停車違反の削減ができます。
 2. 狭い車内での長時間待機によるストレスから開放します。
 3. アイドリングを削減することでCO2排出の削減。環境対策に寄与します。

- 倉庫会社にはクラウドシステムを年間利用料で提供
弊社が提供する予約システムでは、クラウド上でトラックの入場時間予約を管理することができます。また混雑状況や待ち時間など各種レポートを出力することが可能です。

- 既存倉庫管理システムに、荷揃えや入庫の順番情報を提供
システムを使用する倉庫の既存インターフェースを開発提供し、既存倉庫システムと荷揃え表出力、ピッキングなどの出庫業務との連携が可能です。

※1：ドライバーの待機時間問題

現在の倉庫や配送センターにおける配達や積み込みは、2時間以上待機させられるのは当たり前で、繁忙期には8時間以上待機という常識では考えられない待機時間を強いられるケースもあります。特にゴールデンウィーク前やお盆前、年末年始はこのような問題が全国至る所で発生しています。この問題を解決すれば、トラックの回転率が上昇し、1台当たりの仕事量が増え、少ない車で多くの仕事ができることとなり、トラックドライバー不足解消にも大きく貢献できます。

※2：現在稼働中の受付システムとは

来場するトラックドライバーが、休憩室などに配置した大画面のモニターによって、自分があと何番目なのかが分かるようにするだけでなく、外部からもアクセスできるようにし、自社の車両がどういう状態なのか、配車を行った管理者などが確認できるようになっています。この受付システムの利用開始と同時に、待ち時間の集計等データを採り分析をおこなった結果、「早朝1時間前倒し&午前中作業員2名増員」といった対応をすることで、導入前までは79台あった2時間以上の待機車両が0台になりました。また6時間37分であった最大所要時間も1時間35分に短縮しました。その結果、それまで23時であった終業時間は2時間早い21時となる効果を得ました。

※3：貨物積み降ろしに関わる課題

現状、貨物積み降ろしは積載しているパレットの枚数によって時間が変わります。ましてパレットに積載されていない「ばら積貨物」では、すべて手作業での積み降ろしとなり、所要時間は30分で終わる車両から90分以上かかる車両まで千差万別です。

<会社概要>

株式会社エル・スリー・ソリューション L3 Solution Co.,Ltd.

本社 〒105-0004 東京都港区新橋3-22-1 川崎第一ビル5F

TEL 03-5473-0151 FAX 03-5473-0152

開発センター 〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-3-4 朝霞台駅前ビル8F

TEL 048-451-5781 FAX 048-451-5720

沖縄開発センター 〒900-0016 沖縄県那覇市前島3-1-21 eBOX前島ビル8F

TEL 098-860-9385 FAX 098-860-9386

貨物積み降ろし受付予約システムの全体図

